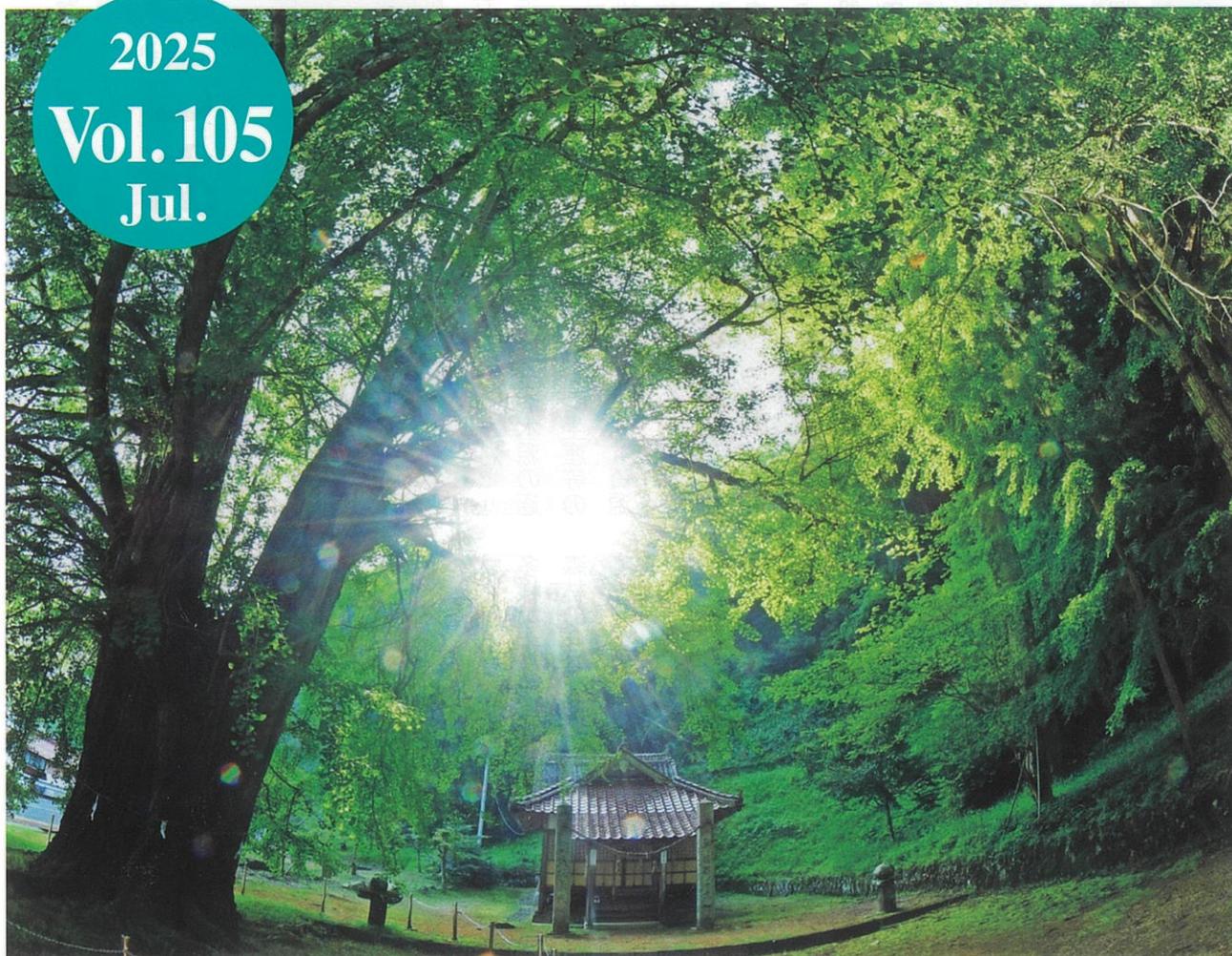


ひろしまの緑

発行 公益社団法人広島県みどり推進機構

2025
Vol.105
Jul.



タイトル：「神宿る」
撮影者：藤原 敏明さん（三原市）

目次

就任のごあいさつ	2
第29回「みどりの集い」	3
イベント掲示板	4
第23回 ひろしま「山の日」県民の集い	5
県立加計高校芸北分校	6
木材利用に係る人材育成支援事業報告	7
令和7年度みどりづくり活動支援事業助成決定	8
緑の街頭募金	8



賛助会員募集

個人 1口 2,000円

団体 1口 10,000円

何口でも可、詳しくは、当機構 HP 又は
広島県みどり推進機構にお問合せください

みどり推進機構ホームページ
URL <https://www.green-hiroshima.or.jp>



就任のごあいさつ

広島県農林水産局長 向井 雅史



この4月1日付けで、広島県農林水産局長を拝命いたしました向井雅史と申します。

皆様方には、平素より本県の緑化推進に御支援・御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、この春、県庁正面の駐車場跡地に、カフェや芝生広場など憩いの施設がオープンいたしました。施設のルーパーには広島県産のスギが使用されており、隣接する「県庁の森」も再整備され、街中で緑や木のぬくもりを感じられる貴重な空間として、多くの方々に親しまれています。

森林空間には、樹木が発散する揮発性物質によって人々に癒しや安らぎを与え、気分をリフレッシュさせてくれる健康増進効果があると言われています。

ます。

また、森林は国土の保全や水源の涵養、地球温暖化防止、木材の生産等の様々な公益的機能を有する大切な資源です。昨今、地球環境や社会・経済の持続性への危機意識を背景として、持続可能な開発目標（SDGs）への関心もこれまで以上に高まっており、その中でも、森林・林業・木材利用に関わる活動への注目度も増しております。

本県におきましても、「2025広島県農林水産業アクションプログラム」に基づき、林業分野における伐採から植栽・保育までの流れをつくる「森林資源経営サイクルの構築」や、県産材需要の確保など「森林資源利用フローの推進」に取り組むとともに、手

入れ不足人工林の整備や住民団体など多様な主体による森づくりを推進し、森林の公益的機能の維持・発揮を図っております。

こうした中、公益社団法人広島県みどり推進機構におかれましては、学校などの身近な公共施設の緑化や、森林ボランティア活動への支援、緑の少年団の育成など、幅広く精力的に活動されるとともに、「県民参加による多様な森づくり」に向けて、県と連携した取組も進められており、深く感謝申し上げます。

また、緑の募金による浄財で賄われる様々な緑化活動は、70年以上前から続いている我が国の環境緑化活動の草分け的存在であり、今後ますます重要性の高まる意義深い取組であると考え

ております。コロナ禍においては、厳しい制限の中での開催を余儀なくされた街頭募金活動や緑の少年団の交流会といったイベントも、以前の賑わいを取り戻しており、誠に喜ばしい限りです。

本県としましても、多様な主体による森づくりの取組と相まって、県内緑化の一層の推進につながるよう、引き続き努力して参ります。

今後とも、皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



令和7年度 第29回 「みどりの集い」開催報告

開催年月日…令和7年4月29日（火・祝）
 開催場所…ひろしま遊学の森 広島県緑化センター
 主催…「県民緑化の集い」実行委員会

1. 今年の4月29日は5年ぶりの晴天に

例年どおり旧「みどりの日」の4月29日に開催しました。近年4月29日と言えば雨。このため翌日順延開催や雨中の開催となり気をもむことが多かったのですが、今年は令和2年以来5年ぶりの晴天となりました。このため、メイン会場の多目的広場・芝生広場に設けたイベントブースや展示場所には朝から大勢のお客様においでいただき、推計約3,000人の来場者を楽しんでいただきました。

2. 開会式では

10時からの開会式では、玉田陽子さんの司会進行で、「県民緑化の集い」実行委員会の高木委員長（広島県森林協会常務理事）の挨拶、広島県の川崎林業振興担当部長の来賓祝辞や



開会式挨拶

主催団体紹介があり、30人が集まってくれた「可部南グリーンズみどりの少年団」も力強い「みどりの誓い」を発表しました。



みどりの誓いの発表

これら例年の流れに加え、今回は「可部南グリーンズみどりの少年団」の指導を長年担っておられる垣内孝正さんの緑化功労表彰が行われるとともに、伊藤園から寄贈された桜の植樹イベントも加わり、開会式から会場は大いに盛り上がりがありました。



緑化功労者表彰

3. 体験コーナーでは

毎回人気の「寄せ植え教室（広島県造園建設業協会）」・「たね団子を作る

う」（みずえ緑地㈱）、「粘土で作ろう（モーマアート）」、「オカリナを作ろう」（小鳥のオカリナワークショップ）、「ネイチャーゲーム（広島市シエアリングネイチャーの会）」、「自由工作塾（ふれあい湧）」、「親子木工教室」（広島県林業研究グループ連絡協議会）などの製作ブースがあり、家族連れで賑わいました。「森の安全作業を学ぼう（NPO法人ひろしま人と樹の会）」では、丸太切りを体験を通じて安全なノコギリの使い方も学ぶことができました。



寄せ植え教室

また、「折り紙ヒコーキ飛ばし」、「モーリーと記念撮影」、「ノルディックウォーク体験」やレストハウス前駐車場で「空から森を眺めよう」など昨年は雨で十分に体験できなかった催しも多くの皆さんに楽しんでいただけました。



空から森を眺めよう

4. 展示コーナーでは 本部テントでは広島県樹苗農業組合からモミジの苗木30本が配られるとともに、「緑の募金」コーナーを設け、募金者にはカープコラボグッズがプレゼントされ多くの皆さんの募金が集まりました。

パネル展示ブースでは、「企業の森の取組み」や「ひろしまの森づくり事業の取組み」のパネルが展示されました。また、学習展示館では草和会の「山野草展示販売・お茶席」が催され、季節の草花や寄せ植えなどを眺めながらお茶席を楽しんでいただきました。

5. 販売コーナーでは

狩留家朝市グループの「朝採り野菜と地元加工品」、カスターニヤの「洋菓子販売」、里山ポラントニアの「木工品展示・販売」、みずえ緑地の草花販売のブースに加え、こむぎのうどん、ピザ



草花販売



キッチンカーも来たよ

ラキャラパンのピザ、3丁目のたこポー
ル、KONARISUのシフォンケー
キなどのキッチンカーも出店があり賑
わいました。

6. ステージでは

ステージでは恒例となった「県庁合
唱団」20名のみなさんの歌声が響く
とともに、今年は新たに「コンサート
デュオ」のお2人によるオカリナとア
コーデオンなどの演奏が行われました。
さらにプログラムにはなかったので
すが、会場のBGMに合わせて踊る子
どもたちがステージに集い、にぎやか
にダンスを披露して会場が盛り上がり
ました。

7. 閉会式では

閉会の挨拶は、「ひろしま遊学の森
管理グループ」を代表して(株)第一ビル



モーリー大人気



ステージ「県庁合唱団」



ステージ「コンサートデュオ」

サービスの岡野晋一が参加者へお礼を
述べました。

閉会式後は恒例により会場内を華や
かに飾っていた花苗が無料配布され、
色とりどりの花を手にした皆さんに喜
んで会場を後にしていただきました。

8. 広報活動について

このみどりの集いは緑化センターを
会場として行われるイベントとしては
最大級のもので、広報活動も
力を入れています。チラシ7,500
枚を近隣の施設も含めて配布する
とともに、「デジタル広告」も広島市周
辺と岩国市区域を対象に「Yahoo! 広
告」、「Instagram広告」に開催情報を
掲載しました。合わせて約38万人がス
マホやパソコンで見えていただいたよう
です。

イベント掲示板 (7月~10月)

行事名	実施日	料金	申込(期限)	内容
広島県緑化センター		TEL 082-899-2811 広島市東区福田町		https://ryokka-c.jp/
7月の植物観察会	7月4日(金)	無料	自由参加	散策路を歩きながら、植物を観察します。(10:00~12:00)
夏のきご教室	7月6日(日)	無料	自由参加	園内で自由にきのこを採集し、午後から持ち寄ったきのこを鑑定します。(10:00~14:00) ※採集用のカゴ持参 荒天中止
夏休み昆虫教室	7月20日(日)	無料	【抽選制】事前にホームページより予約要	昆虫の生態や採集方法などを学び、屋外で採集します。(10:00~12:00) ※採集用具持参
夏休み自由工作塾	7月20日(日)・27日(日)・ 8月3日(日)・17日(日)・ 24日(日)	材料費100円 (1作品につき)	随時受付	木の実や木の枝を自由に使い作品を作ります。(10:00~12:00)
藍のトントン染め	7月21日(月祝)	材料費500円	【抽選制】事前にホームページより予約要	藍染めについて学び、トントン染めを実践します。(10:00~12:00)
昆虫標本作り入門	7月27日(日)	材料費1200円	【抽選制】事前にホームページより予約要	昆虫について学び、標本を作ります。(10:00~12:00)
水生昆虫を探そう	8月3日(日)	無料	【抽選制】事前にホームページより予約要	溪流路で水生昆虫の観察をします。(10:00~12:00) 雨天中止 ※持参物等詳細はHP参照。 ※5歳以上、小学生以下(小学3年生以下の子供が複数名参加の場合は保護者2名以上必須)
はじめての苔テラリウム	8月31日(日)	材料費1000円	要予約先着20作品 (7/1~開始)	苔テラリウム作りに挑戦します。(10:00~12:00)
秋の七草と植物観察会	9月3日(水)	無料	自由参加	秋の七草について学び、植物を観察します。(10:00~12:00)
やさしい植物観察入門	9月3日(水)	無料	自由参加	コーデネーターとマメ科植物について、みんなで学びましょう。(13:30~15:00)
マメ科植物の特徴と見分け方・その1	9月3日(水)	無料	自由参加	(10:00~12:00)
薬草講座	9月5日(金)	無料	自由参加	(10:00~12:00)
親子いけばな教室	9月15日(月祝)	材料費800円	要予約先着20作品 (7/1~開始)	涼しい水辺の景色をいけばな (13:30~15:30)
9月の植物観察会	9月27日(土)	無料	自由参加	散策路を歩きながら、植物を観察します。(10:00~12:00)
秋のきのこ入門観察会	9月28日(日)	無料	【抽選制】事前にホームページより予約要	講師と一緒に園内を散策しながら、発生しているキノコの説明を聞きます。(10:00~12:00)
広島県立中央森林公園		TEL 0848-86-9101 三原市本郷町		http://www.chuo-shinrin-koen.or.jp/
昆虫教室	7月5日(土)・12日(土)	2800円		中央森林公園内の昆虫採集やカブトムシの家づくり
木工教室	7月20日(日)・27日(日)・ 8月3日(日)	2500円		大工さんと一緒にいすなどを作製
季節の寄せ植え教室	9月28日(日)	3000円		多肉植物の寄せ植え
子ども抹茶体験	10月5日(日)	参加費+入園料		抹茶体験教室



第23回 ひろしま「山の日」県民の集い

広島県内10の会場で開催！10月末までに3会場開催予定

6月の第1日曜日は、「出かけよう、ふるさとこの山へ！あなたの身近な里山へ！」をテーマに、令和7年6月1日（日）、第23回ひろしま「山の日」県民の集いが開催されました。広島県内11市町13会場（福山市は6月15日、安芸太田町は10月12日、三次市は日程未定で開催予定）にて、里山の手入れ、森のネイチャーゲーム、自然観察会など、さまざまなプログラムが実施されました。各会場の特性を活かした、地域ネットワーク型の取り組みは、「ひろしま『山の日』県民の集い」の大きな特徴となっています。

今年で23回目を迎える集い行事は、2002年に初開催された広島市で、総合開会式を行いました。各会場には多くの皆さまにご参加いただき、当日は好天にも恵まれました。子どもから大人まで、森林ボランティアや山・自然の愛好家など、多くの県民の皆さまが参加され、里山の手入れをはじめとした各プログラムを通じて、身近な自然とふれあう貴重な機会となりました。こうした里山を守る活動は、SDGsの目標「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」にもつながるものであり、参加を通して、一人ひとりがSDGsをより身近に感じていただけたのではないかと思います。

東広島市憩いの森公園会場の様子

約200名の参加のもとで行われた総合開会式では、広島県農林水産局森林保全課課長・小谷美紀様をはじめ、多くのご来賓の皆さまにご臨席賜り、これまでの活動に対して心温まるお言葉をいただきました。また、東広島みどりの少年団の児童2名による力強い「山の日宣言」が行われ、身近な里山保全の大切さを改めて認識する開会式となりました。

地元の酒造会社などで構成される「西条・山と水の環境機構」のメンバーを中心に、地元企業のボランティア約80名が「山のグラウンドワーク」を実施し、山に入っただ下草刈りなどの作業に取り組みました。また会場では、子どもたちが薪割り機の体験や防虫スプレーづくりなどを楽しみ、たいへん盛り上がる有意義な「山の日」となりました。



開会式 前垣壽男会長 挨拶



東広島みどりの少年団による「山の日宣言」



安全祈願の「どんぐりころころ」三昌



薪割り機の体験をする子どもたち



「虫さんバイバイスプレーづくり」説明の様子

参加者一覧

会場名	参加者	山の手入れ等	備考
東広島市会場 東広島市憩いの森公園	210人	80人	
廿日市市会場 もみのき森林公園	250人	25人	
広島市会場 ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)	580人	40人	
三原市会場 高坂自然休養村管理センター	92人	47人	
	200人	200人	
福山市会場 ぶくやまふれあ愛ランド			6/15開催予定
三次市会場 ハイヅカ湖畔の森			未定
呉市会場 野呂山・野呂高原ロッジ周辺	114人	24人	
世羅町会場 せら夢公園	444人	0人	
坂町会場 ベイサイドビーチ坂	23人	0人	
大竹市会場 マロンの里交流館	900人	17人	
	38人	0人	
安芸太田町会場 深入山グリーンシャワー			10/12開催予定
計	2,851人	433人	

この3年間の推移

項目	第20回(2022年)	第21回(2023年)	第22回(2024年)
会場数	11市町、12カ所	15市町、16カ所	12市町、13カ所
全体参加者数	1,999人	7,511人	4,366人
山の手入れ等参加者	395人	576人	314人

今後に向けては、SDGsの視点に立ち、豊かな身近な里山資源を活用しながら、より多くの人々の参加を得られるよう地域と連携

し、地域ぐるみでの里山保全活動の仕組みづくりに取り組んでまいります。

広島県立加計高等学校 芸北分校の緑化活動

■学校の概要

「誠実 自主 気魄」を校訓とする全校生徒92名の小規模校である。県内唯一の普通科分校として、学校の枠を超えた地域での学びを通して、将来地域社会を担うことのできる生徒を育てている。生徒は非常に意欲的で、勉強だけでなく部活動や課外活動にも主体的に取り組んでいる。

■実施の背景と目的

芸北分校が位置する北広島町は、中国山地の自然に囲まれた地域であり、清流や森林などの豊かな自然環境に恵まれている。今回の活動は、こうした地域資源を活用し、生徒が実際に現地に足を運んで生物を採集・観察するこ

とにより、「生物多様性」や「自然との共生」について学ぶことを目的としたものである。また、生物基礎の単元「生物の多様性と生態系」に関連づけ、自然科学に対する興味・関心と探究心を育成するねらいがある。

■活動内容

活動当日は、川に入ることが初めてという生徒も多く、当初は不安げな表情も見られた。しかし、綱やバケツを手にして川に足を踏み入れると、周囲を注意深く観察しながら、生徒たちは協力して次々と水生生物を発見し、採集することができた。

カゲロウやカワゲラの幼虫、ヤゴ、サワガニ、アカハライモリ、カワムツ、

ミズカマキリなど、身近な川にも多様な生き物が生息していることに、生徒たちは驚きの声を上げていた。採集後は教室に戻り、生物の特徴や生態について整理を行った。そこで、指標生物について学び、水質階級の判定を行った。判定した結果、身近な川は最もきれいとされる水質階級Ⅰであることがわかり、生徒たちは安心する様子が見られた。

■生徒の反応と学び

生徒からは「普段の生活では気づかない川の中の世界を初めて見た」「身近な自然にも多様な生物が存在していることに驚いた」といった声があった。また、「時期や天候が異なると見られる生物の変化はあるのか」「他の川とも比較してみたい」といった探究的な視点も生まれた。

活動の終盤には、「自然を守ること」はそこに暮らす生物を守ることに「身近な環境にも豊かな生態系がある」といった認識に至った生徒も多く、単なる観察にとどまらず、深い学びにつながる体験となった。

■まとめ

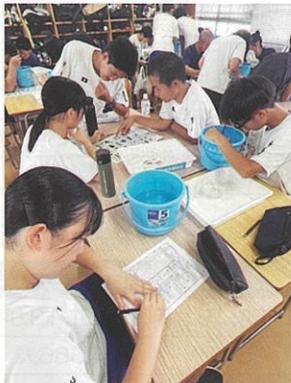
今回の生物採集活動は、地域の自然環境について実感を伴って学ぶ貴重な機会となった。また、地域資源を活用した学習を通して、生徒は自然の多様

性や大切さを肌で感じ、自ら考え行動する力を高めることができた。今後も芸北分校では、地域と連携した教育活動を推進し、生徒が自然に親しみ、主体的に学ぶ力を育成していく所存である。また、本活動は北広島町役場や北広島町公衆衛生推進協議会の方々のおかげで、安全に配慮した活動を行うことができた。この場をお借りして感謝申し上げます。

活動の様子



採集した生物を観察する様子



「木材利用に係る人材育成支援事業」報告

(一社) 広島県木材組合連合会

事業の概要

広島県木材組合連合会では、県産材の利用促進・木材需要の拡大を推進するため、木材利用を推進する建築士、木材供給者を対象とした木造技術研修会を開催し、木材利用促進活動の強化を図るとともに、県・建築関係の教育を行う大学との連携により、将来の木造建築等に携わる担い手確保のための人材育成を通じて、木材利用促進を総合的に推進しています。

令和6年度においては、国土緑化推進機構からの助成を受け、次の取組を実施することで木材利用の機運醸成とともに、森林の重要性に対する理解の広がりにも繋がり、「国民参加の森林づくり」運動の展開への貢献の一助となることを目指しております。

- ひろしま木づくり推進協議会、ひろしま木造建築協議会において、木材利用技術の知識向上のための研修会を開催。
- 林業・木材産業の魅力を知ってもらうための「学生のための木を活かす仕事体験ツアー」を開催。
- 建築関係学生に対して木材の基礎知識を知っていただくための「ベンチ

技術研修会



ひろしま木づくり推進協議会研修会

演題：睦モクコレビルについて
講師：南睦設計コンサルタント 松本代表取締役



ひろしま木造建築協議会研修会

演題：道の駅ほうじょう
講師：(株) NSP 設計 柴田副社長

取組み結果

非住宅の木造建築の取組事例を題材

「試作」の実施。
身近なところで県民が木に触れ合い、木の良さに対する理解を深める機会を設けるため、試作したベンチの公共施設への展示活用。

試作」の実施。

学生のための木を活かす仕事体験ツアー



地域材を活かした家具づくり

講師：土井木工株式会社 土井社長



コウヨウザンの森を歩く

場所：庄原市内

広島工業大学の学生が試作したベンチ



北広島町に寄贈したベンチ



三次市に寄贈したベンチ

木造建築担い手講座に参加した学生が試作したベンチ



幼稚園に寄贈したベンチ



幼稚園に寄贈したベンチ

とした研修会は、ひろしま木づくり推進協議会においては8月20日に30名が受講、ひろしま木造建築協議会においては8月23日に25名が受講し、木材の調達方法、建設コストの抑制につながる工法などを議論することで、木材利用技術の向上を図った。
また、学生のための木を活かす仕事体験ツアーについては、9月4日に広島工業大学、近畿大学、広島大学の学生31名の参加を得て開催し、地域材を活かした家具づくりの取組の講演を聞き、早生樹「コウヨウザン」の造林地や非住宅の木造建築箇所の視察を行い、林業・木材産業の状況を学ん

いただいた。
さらに、「ベンチ試作」については、広島工業大学建築デザイン学科1年生110名が10グループに別れ、広島工業大学と連携協定を締結した北広島町及び三次市の特徴を活かし、北広島町向けのベンチ7脚、三次市向けのベンチ3脚を製作し、公共施設等へ展示活用されています。また、広島大学、広島工業大学、近畿大学、安田女子大学が連携する木造建築担い手講座実行委員会では、同大学の学生12名が3グループに別れ、幼稚園児が利用するベンチを試作し、幼稚園において展示活用されています。

令和7年度 公募事業「みどりづくり活動支援事業」一覧表

(単位:円)

区分	番号	実施主体	事業名	実施場所	助成額
森林整備	1	吉川長寿会	生きがい対策森林づくり事業	東広島市八本松町吉川財産区内(借上げ地)	90,000
	2	吉川の里山を育てる会	吉川みんなの森整備推進事業	東広島市八本松町吉川吉川財産区有林	100,000
	3	NPO法人ひろしまと樹の会	森林ボランティアの啓蒙と森林整備事業	広島市文教大学構内	150,000
	4	深水自然を守る会	深水憩いの広場つくりと自然の再生	福山市神辺町西中条財産区有林、深水共有林	150,000
	5	上御領下組自然と森林を守る会	上御領下組森林整備事業	福山市神辺町上御領下組生産森林組合所有林	40,000
	6	ふれあい湧	緑化センター森林整備事業	広島県緑化センター内の森林	150,000
	7	年輪クラブ	羽高湖周辺山林整備事業	府中市諸毛町羽高湖周辺	80,000
	8	下御領自然と歴史を守る同好会	里山整備事業	福山市神辺町下御領生産森林組合所有地	40,000
	9	福山山岳会	福山市近郊の里山登山道・遊歩道整備事業	福山市近郊の里山	50,000
	10	木の駅八千代実行委員会	里山間伐整備事業	安芸高田市八千代町	90,000
小計		10			940,000
環境緑化	11	廿日市造園緑化建設業協会	緑化推進事業パネル展示事業	廿日市市新宮中央公園	100,000
	12	高屋堀団地花壇作り同好会	高屋堀団地周辺環境緑化事業	東広島市高屋町高屋堀団地周辺	50,000
	13	土師ダム桜守プロジェクト	土師ダム桜守プロジェクト事業	安芸高田市八千代町土師土師ダム湖畔	50,000
	14	大道田まちづくり支援の会	みんなが行きたくなる花広場づくり事業	呉市焼山東花とみどりの夢広場 大道田第2	120,000
	15	甲奴中学校生徒会	学校緑化事業	三次市甲奴町甲奴中学校	180,000
	16	大河内さくらの会	桜並木整備事業	東広島市西条町郷曾黒瀬川河川敷	40,000
	17	三次市立塩町中学校生徒会	学校緑化事業	三次市大田幸町	80,000
	18	安浦町下垣内自治会	花のある暮らし事業	呉市安浦町下垣内地区内	150,000
	19	吉舎中学校生徒会ボランティア	吉舎学区緑化事業	三次市吉舎町吉舎	120,000
	20	脱温暖化プロジェクトせら	グリーンカーテン推進	世羅町内自治センター・小学校等	100,000
小計		10			990,000
普及啓発	21	サポート・トレッキング・グループ	里山登山路等整備	灰ヶ峰、野呂山、休山の登山道	40,000
	22	公益財団法人オイスカ広島県支部	山・林・SUN活動事業	廿日市市吉和もみのき森林公園	40,000
	23	可部南グリーンズ緑の少年団	緑の少年団自然体験思い出づくり	三次市君田町及び三原市本郷町	150,000
小計		3			230,000
計		23			2,160,000

ボランティア団体や地域の緑化活動等に助成する本年度の「みどりづくり活動支援事業」は、2月1日から3月31日まで公募を行ったところ、23件の応募がありました。

去る5月28日に、緑の募金の管理・運営等について審議する当機構の運営協議会を開催し、一覧表のとおり全事

(公社) 広島県みどり推進機構

業を採択することになりました。「緑の募金」にご協力していただいた方々のご厚志に沿うような、素晴らしい「県民参加のみどりづくり」をそれぞれの地域で実施して頂くようお願いいたします。

4月13日(日)、広島市のヤマダデンキLABI広島店前で、広島県、広島市及び当機構は、可部南グリーンズ緑の少年団、フラワーアンバサダー、森林ボランティア団体の方々のご協力を得て、「緑の街頭募金」を実施しました。少年団の子供達が元気に大きな声を出して、募金をお願いしました。募金にご協力頂いた皆様に心から感謝申し上げます。

令和7年度公募事業
「みどりづくり活動支援事業」助成額決定!

23団体の事業を採択

緑の街頭募金を
実施しました

公益社団法人 広島県みどり推進機構

〒730-8511 広島市中区基町 10-52 県庁森林保全課内 TEL082-513-4840
E-mail info@green-hiroshima.or.jp
ホームページ https://www.green-hiroshima.or.jp

支 部 事 務 局

広島市 広島市役所農林整備課内 082-504-2249	安芸高田市 安芸高田市役所農林水産課内 0826-47-4022
呉市 呉市役所農林水産課内 0823-25-3317	江田島市 江田島市役所農林水産課内 0823-43-1642
竹原市 竹原市役所建設課内 0846-22-7746	府中町 府中町役場環境課内 082-286-3244
三原市 三原市役所農林水産課内 0848-67-6081	海田町 海田町役場まちデザイン課内 082-823-9634
尾道市 尾道市役所農林水産課内 0848-38-9212	熊野町 熊野町役場農林緑地課内 082-820-5638
福山市 福山市役所農林水産課内 084-928-1033	坂町 坂町役場企画財政課内 082-820-1507
府中市 府中市役所農林課内 0847-43-7132	安芸太田町 安芸太田町役場産業観光課内 0826-28-1973
三次市 三次市役所農政課内 0824-62-6163	北広島町 北広島町役場農林課内 0826-72-7363
庄原市 庄原市役所林業振興課内 0824-73-1124	大崎上島町 大崎上島町役場建設課内 0846-65-3124
大竹市 大竹市役所産業振興課内 0827-59-2130	世羅町 世羅町役場産業振興課内 0847-22-5304
東広島市 東広島市役所農林水産課内 082-420-0939	神石高原町 神石高原町役場産業課内 0847-89-3337
廿日市市 廿日市市役所農林水産課内 0829-30-9148	

ひろしまの緑 105号(令和7年7月1日発行) 発行 公益社団法人広島県みどり推進機構

